

「うつのみやが目指すまちづくりと公共交通ネットワーク」

パンフレットに対する市民意見の取りまとめ結果

うつのみやが目指している「まちづくり」と「公共交通ネットワーク」について、市民の皆様に関心を持っていただくことを目的にパンフレットを配布いたしました。

パンフレットをご覧いただいた皆様から、関心を持ったことや、今後知りたいと思ったことについて、ご意見をお寄せいただきましたので、その取りまとめ結果をお知らせいたします。

【意見者数と回答方法】

・ 312人（募集期間：平成23年2月16日～平成23年4月30日）

回答方法	郵送等	Eメール	電話	来庁	合計
意見者数	288人	7人	12人	5人	312人

【設問内容と意見件数】

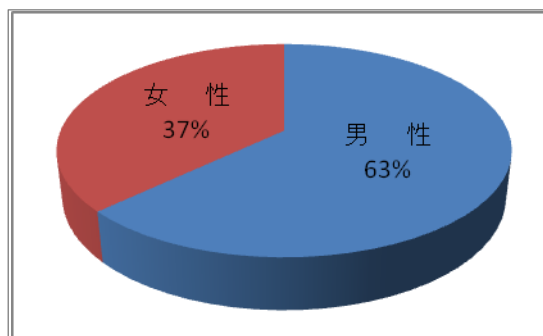
設問内容	意見件数
●「ネットワーク型コンパクトシティ」のどんなところに関心を持ちましたか。	277件
●「公共交通ネットワーク」のどんなところに関心を持ちましたか。	364件
●今後「公共交通ネットワーク」のどんなことが知りたいですか。	280件
合計	921件

※意見の件数は、寄せられた意見の傾向を整理するため、各設問に対し複数の内容を記載していただいた意見を1つ1つの意見に分割した数です。

【属性】

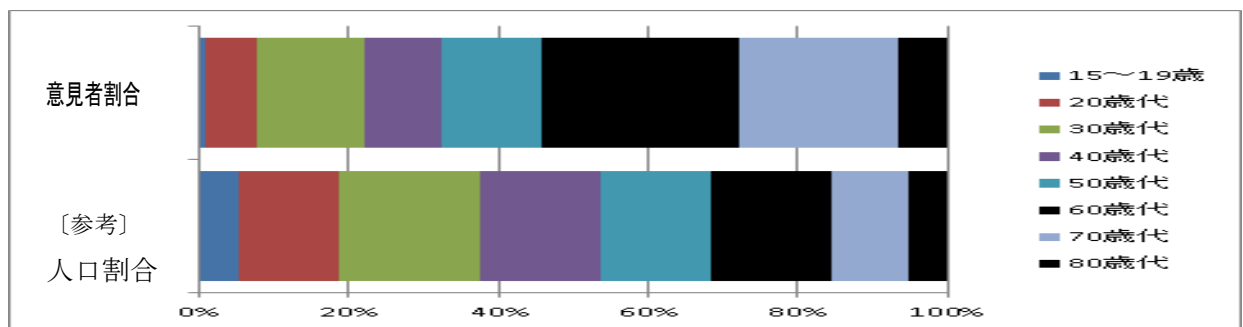
●性別（記載があった意見者数：216人）

性別	意見者数	割合
男性	136人	63%
女性	80人	37%
合計	216人	100%



●年齢（記載があった意見者数：216人）

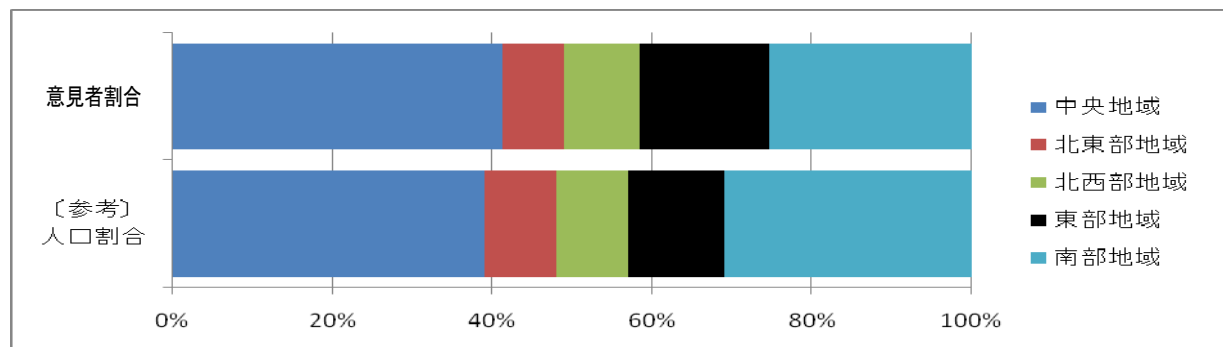
年 齢	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	合計
意見者数	2人	15人	31人	22人	29人	57人	46人	14人	216人
意見者割合	0.9%	6.9%	14.4%	10.2%	13.4%	26.4%	21.3%	6.5%	100%
〔参考〕 人口割合 【※1】	5.3%	13.1%	18.6%	16.1%	14.6%	16.1%	10.1%	6.1%	100%



【※1】宇都宮市「住民基本台帳登録者数(平成23年3月末時点)」

●居住地域【※2】（記載があった意見者数：233人）

居住地域	中央地域	北東部地域	北西部地域	東部地域	南部地域	合計
意見者数	96人	18人	22人	38人	59人	233人
意見者割合	41.2%	7.7%	9.4%	16.3%	25.4%	100%
〔参考〕 人口割合	39.2%	8.9%	8.7%	12.5%	30.7%	100%



【※2】宇都宮市「第2次都市計画マスタープラン」による区分

【設問ごとの主な項目と意見件数】

●「ネットワーク型コンパクトシティ」のどんなところに関心を持ちましたか。

- ① 移動手段や交通に関すること（108件）
- ② 拠点や生活圏の形成に関すること（47件）
- ③ ネットワーク型コンパクトシティ全体に関すること（28件）
- ④ 高齢社会への対応に関すること（21件）
- ⑤ 中心市街地の活性化に関すること（18件）
- ⑥ 良好な自然環境の確保に関すること（11件）
- ⑦ 健全財政の確保に関すること（10件）

●「公共交通ネットワーク」のどんなところに関心を持ちましたか。

- ① 公共交通ネットワークの整備に関すること（94件）
- ② 新交通システムの整備に関すること（86件）
- ③ 公共交通の利用環境向上に関すること（52件）
- ④ バス路線の充実に関すること（48件）
- ⑤ 地域内交通の運行や循環バスの充実に関すること（33件）
- ⑥ 鉄道の充実に関すること（10件）

●今後「公共交通ネットワーク」のどんなことが知りたいですか。

- ① 公共交通ネットワークの構築に関すること（87件）
- ② 新交通システムの整備に関すること（73件）
- ③ 地域内交通の運行や循環バスの充実に関すること（22件）
- ④ バス路線の充実に関すること（20件）
- ⑤ 公共交通の利用環境向上に関すること（20件）

【項目ごとの代表的な意見】

●「ネットワーク型コンパクトシティ」のどんなところに関心をもちましたか。

	項 目	代表的な意見
①	移動手段や交通に関する事 こと (108 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が繋がれば、どこにでも決まった時間に行けて理想と思う。(20 歳代) ・私自身が歳を取った時に車に乗っていると言われるとノーであろう。しかし、現状では車に乗らざるを得ない状況である。提案されているネットワークが構築されれば、車以外の移動手段で出歩くことができるのが良いと思う。(30 歳代) ・宇都宮の交通事情の悪さを改善する可能性があるのではないかと思った。(30 歳代) ・各拠点を結んで宇都宮を発展させるという案。ただし各拠点のバス停まで家が遠いと利用しない人も出てきて結局同じになると思う。(40 歳代) ・公共交通がもっと充実すれば、マイカーの使用回数は減ると思う。公共交通を利用したいと思っている人は沢山いる。(50 歳代) ・地方(宇都宮)の人は、ほぼ一人1台車を運転できる環境にあり、ドアツードアの移動感覚が身につけており、これを無視してこの問題は語れない。(50 歳代) ・新しいものの導入よりも今の改善を。今の交通手段の優しさ丁寧さの見直しが大事である。(60 歳代) ・運転が出来ないので、早く出かけるのに便利な宇都宮にして欲しい。(60 歳代) ・魚の骨を例えたネットワークを考えているようだが、これは市を東西に構想を描いたものであり、これでは南北は益々衰退するのみ。車社会と高齢化が進む中で、地域住民がどのように利用するのか徹底的に意識調査をして考えて欲しい。(70 歳代) ・この計画には自家用車利用が考慮されていない。買い物は手に持たなければならない。無料の駐車場が各地にあることのほうが現実的である。(年齢未記入) など
②	拠点や生活圏の形成に関する事 こと (47 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点化の促進が上手くいくかどうか。拠点に魅力、わざわざ出向く意義や付加価値がないと、どんなに交通網を整えても拠点に人は集まらないと思う。(30 歳代) ・各地域拠点の特徴をどのように打ち出していくのか、そこに関心がある。宇都宮市はエリアが広いので、全体のイメージを出されても抽象的になりやすい。各地域拠点のイメージを具体的に提示しないと、他人事とってしまう。(30 歳代) ・地域拠点となるところがどの地区になっていくのか、とても関心が

		<p>あります。地域拠点になる地区に住んでいるか住んでいないかで、将来の生活の便利さに格差が生まれるのでは？と考えてしまいます。 (40 歳代)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域が持つ特徴を生かせ伸ばせる事、そして地域が互いに補充し合える事に関心を持った。(60 歳代) ・国・県道の整備や鉄道等が整備されており、宇都宮市としては生活圏を主として施策を講じるべきである。(年齢未記入) など
③	ネットワーク型コンパクトシティ全体に関する事 (28 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮は、都市拠点、産業拠点、地域拠点が割りと明確な「市」だと思います。学生・社会人・子育て世代・高齢者 etc.自分のライフスタイルのほとんど全てで各拠点に関係があるので、それぞれのネットワークを強くしてほしい。(20 歳代) ・コンパクトシティを作るとあるが、いくつぐらいのコンパクトが適当なのか？市内のどこをコンパクトにすれば、それが実現できるのか？まずはそこを知りたい。(40 歳代) ・ネットワーク型コンパクトシティは、交通ネットワークだけでは成り立たず、これからは情報のネットワーク化が特に大切である。(60 歳代) ・30年・50年先の話をされても困る。(70 歳代) など
④	高齢社会への対応に関する事 (21 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会が進んでいく中で必要な構想であると思う。長い時間かかる計画であるが、モデルとなる地域を一ヶ所でも早くつくり、市民に良さを実感してもらうことが必要であると思う。(40 歳代) ・高齢化に対応して早急に介護福祉の問題と少子化対策を講じなければ間に合わない。対応できれば、住みやすい街になり若い人も集まるから少子化対策に有効である。(50 歳代) ・高齢社会の進行→医療や介護などの社会保障の増加…。誰が私たち高齢者を支えてくれるのか、とても不安である。(70 歳代) など
⑤	中心市街地の活性化に関する事 (18 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・現に大通り沿いの空洞化があり、都市拠点を活性化させるためには、絶対必要不可欠である。(30 歳代) ・中心市街地の活性化及び利便性を基本とした具体策の一つとして前進する案といえる。中心市街地の魅力がうすれている現状で、本来歩いて商店街を回遊することによって有力企業・店舗が出店するような街にしなければならない。(50 歳代) など
⑥	良好な自然環境の確保に関する事 (11 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ、節電型社会の実現のために効果的である。(50 歳代) ・CO2 削減になってとても良いと思う。また、自然が融合する街として観光・温泉など魅力のある街が少ない中、東京から近くて本当の自然を沢山はぐくむ街として、行政が動いてくれることを祈る。(70 歳代) など

⑦	健全財政の確保に関すること (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・構想はいいのだが、投資後の市の財政がどうなるのか説明がなされていない。市民にまず、財務見通しを説明されたい。(70歳代) ・経済的に成り立つビジネスモデルにして欲しい。新規に税金投入などできない今後の時代の中でこれだけの事項を既存予算で行うことは不可能に近いと思う。理想は良いとして、現実的に例えば5年程度で実行可能な計画にして欲しい。(年齢未記入) など
---	------------------------	--

●「公共交通ネットワーク」のどんなところに関心を持ちましたか。

	項目	代表的な意見
①	公共交通ネットワークの整備に関すること (94件)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークを整備して便利にしていくことで、普段外出しない人も、外出する頻度が増えて、まちを活性化させることができる点に関心を持ちました。(20歳代) ・不便が改善される感じがしないので関心が持てなかったです。(30歳代) ・地域内交通やバス、新交通システムなどで拠点間を結ぶことでCO2の削減や渋滞の問題が解消されて、市民の移動にも役立つと思います。(30歳代) ・自家用車を使用しなくても、公共交通ネットワークにより不自由なく外出できるようになる事(高齢者、子供)。(40歳代) ・東日本大地震によって、私たちの生活が「ガソリン」と「電気」が欠かせないことを思い知らされました。今後ますます「環境」や「省エネルギー」、そして「高齢化」に対する施策を、目に見えるかたちでどんどんまちなかに取り込んでいていただきたいと思います。(40歳代) ・路線バスと循環バス、地域内交通をうまく組み合わせる事により、コストを減らしながら、より利便性を高められるのではないかと思います。(50歳代) ・トランジットで乗り換えるのが大きな負担になる老人の方が多いと思います。ドアツードアでないと困難な身には(50m歩くともう精根尽き果てその日の用事が足せません)、大通りなどの主要幹線道路に車が入れないと中心部への外出は全く出来なくなってしまいます。(50歳代) ・通勤、通学、イベント等の時に、一度に大量の人数が移動できたほうが、時間もエネルギーもより効率的です。(50歳代) ・公共交通ネットワークができると私も一人で好きな時に気軽にどこにでも行ける様になり、住みやすく、環境の良い宇都宮市になると思

		<p>います。(60 歳代)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者, 若者, ミドル世代とそれぞれが生活パターンが異なり, 求める利便性に違いが多いと思う。まずは既存の公共交通の利用拡大のためのネックを解消してゆくことに取り組んで行くこと(地域内交通の運行, マイカー通勤規制 etc.)。右肩下りの長期化が懸念される中で, 無理に計画を進めると投資後の財政悪化を招くことに繋がる。(60 歳代) ・これからの社会では, 道路整備と同じ様に公共交通を整備していく事が求められると思います。(70 歳代) ・公共交通空白地域・不便地域の交通ネットワークの新設を早急に進めていただきたい。(70 歳代) など
②	新交通システムの整備に関する こと (86 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・市を東西に横断する新交通システムの導入について関心を持った。(10 歳代) ・清原工業団地に通勤していますが渋滞がっらいです。清原や芳賀工業団地の企業が協力して共同バスを運営して欲しい。また, L R T や B R T の整備を強く強く望みます。通勤者だけでなく, 高齢者や学生にも望まれると思います。価格も安くして欲しい。高いと渋滞は減らないと思う。(20 歳代) ・新交通システムである L R T や B R T の交通整備。(30 歳代) ・自動車より安全で環境にやさしい L R T のような公共交通が, 私たちが安全に自動車を運転できなくなっていく 30 年後までに整備されていくのか? 大変関心があります。(40 歳代) ・乗り換え乗り換えで大変な上, 時間もかかり, 金額もかかる L R T の不便さ, 欠点にあらためて関心を持った。(40 歳代) ・基幹交通は, 時間の正確さ, 乗り心地, 環境 (CO2) 等から考えて, L R T が最も優れていると思う。(70 歳代) ・富山市の電車のように, 市内を循環するなら利用しやすいが, 東西に直線というのは納得できない。(70 歳代) ・L R T は企業や商店がやるべきもので, 税金を投じてやる性格と違うと思う。メイン通りはほとんど関係ない。(年齢未記入) など
③	公共交通の利用 環境向上に関する こと (52 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用環境を向上させるために I C カードの導入を検討しているところ (20 歳代) ・パークアンドライドを充実させ, 車と公共交通の両立を実現させて欲しい。(30 歳代) ・電車の乗り換え案内のように, 自分の乗りたい路線バスが今どこを走っていて, 自分の最寄りのバス停には何分後に着くかという情報が, バス停や携帯端末で見られると便利です。(40 歳代) ・I C カードの導入に関心を持ちました。(70 歳代)

		<ul style="list-style-type: none"> ・バス停の利用環境, IC カードの導入, 駐輪場の整備, バス運行状況の提供に関心があります。(年齢未記入) など
④	バス路線の充実に関すること (48件)	<ul style="list-style-type: none"> ・私の住む場所は, 都市拠点と地域拠点の間にある地域で, バスも1時間に1本程度で, 夜も7時台までです。こうした点が, 改良されれば, 地域の人が車から公共交通に乗り換えると思います。(20歳代) ・多くの人がバスを利用している, 既存のバス路線を充実させてください。(40歳代) ・バス路線が新設されると, バスで通勤・通学が出来る為, お年寄りや子ども達(学校)の通学に喜ばれると思います。(60歳代) ・発案者に悪いが, 高齢者の足腰の不自由な者たちの移動は, バスの本数じゃないよ。低床車両を導入し, 利用者はマナーを守って移動すべきです。(70歳代) ・雨天等時, バスのダイヤはとても乱れます。改善策があればバスの利用が増えると思います。(年齢未記入) など
⑤	地域内交通の運行や循環バスの充実に関すること (33件)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域毎に日常生活に必要な交通手段を考えていただくことで, 地域内交通や, 魚の骨の支線部分に, より具体性を持たせることが大切だと思います。(40歳代) ・地域内交通がより便利になる点。(50歳代) ・循環バスも地域を大きく分けてまわってくれるともっとよいと思う。(60歳代) ・交通の不便な農村地帯ですと, バス路線まで行くのに2~3km移動しなければなりません。また, バス路線でバス利用するにも運行時刻が1日2往復では不便でなりません。板戸のように, 地域内交通の運行が望ましいと思います。その後は路線利用で往来できるので便利だと思う。(年齢未記入) など
⑥	鉄道の充実に関すること (10件)	<ul style="list-style-type: none"> ・東武線を使っていますが, 1時間に2本しかないので非常に不便です。(40歳代) ・ネットワークの中の背骨部分で, 駅 (JR)の数が少ない。(60歳代) ・JR 宇都宮駅と東武宇都宮駅を繋げてほしい。相互の乗換えが出来る。(年齢未記入) など

●今後「公共交通ネットワーク」のどんなことが知りたいですか。

	項目	代表的な意見
①	公共交通ネットワークの構築に関すること (87件)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なサービス水準。(20歳代) ・バス, 乗合タクシー, 鉄道を充実させるのと, LRTなどを新規建設した時のそれぞれの特徴, 建設コスト, 市民の負担の大きさ。(30歳代) ・利用料金, 運行頻度。(40歳代) ・この取組みによる経済効果。ネットワーク運営の採算性。(40歳代) ・走行ルート, 一日の本数など。(60歳代) ・運賃・支払い方法などが知りたい。(60歳代) ・地域とトランジットセンターを結ぶ方法が細かく知りたい。(70歳代) ・トランジットセンターの広さ, 数等の確保について。(70歳代) など
②	新交通システムの整備に関すること (73件)	<ul style="list-style-type: none"> ・LRTの魅力と波及効果。(30歳代) ・導入都市の成功例, 失敗例。(40歳代) ・LRT導入検討の進捗状況。(40歳代) ・LRTのコストとBRTのコストの比較。(50歳代) ・BRTの詳細(実際利用の意見)。(60歳代) ・LRT導入の検討は, 街中心部の車は減少するが, 周辺からLRTを利用する為に, 車で来る場合の駐車場の確保はどのように考えているか。(60歳代) ・新交通システムに力を入れているようですが, 採算の事, 乗換えが不便な事を説明してほしい。(70歳代) など
③	地域内交通の運行や循環バスの充実に関すること (22件)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内交通の充実はどのように計られているのか, 公共交通空白地域はどんな配慮がなされるのか, 知りたいです。(40歳代) ・既存の路線バスがどのようになり, 循環バスがどのように変わるのか知りたい。(50歳代) ・地域内交通を利用する際の料金 (年齢未記入) など
④	バス路線の充実に関すること (20件)	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停の区間(範囲)。(30歳代) ・具体的に地域名をあげて欲しい。バスなどの増便も現在と比較して, どのような頻度になるか, 所要時間なども検討して欲しい。(60歳代) ・現状バスは土・日・祝日は本数が少なく, 不便です。こういうことは無くなるのでしょうか。(70歳代) など
⑤	公共交通の利用環境向上に関すること (20件)	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の用意(増設) についてと料金について。(30歳代) ・家族に車椅子の者がいます。お年寄りも含めて体の不自由な人が, いかに使いやすく出来るかで, 利用が増えるかが重要だと思います。その点はどのように考えているか知りたいです。(50歳代) ・我々高齢者にとっては乗りやすい事, 乗降が楽な事, 手続きが簡単な事でICカードは必要。(80歳代) など

【問い合わせ先】

〒320-8540 宇都宮市旭1-1-5

宇都宮市 総合政策部 交通政策課

TEL 028(632)2304・2305

FAX 028(632)5422

Eメール: u2017@city.utsunomiya.tochigi.jp